

専門教育科目

講義科目

授業科目名	組織におけるメンタルヘルス・マネジメント	科目コード	配当年次	単位
担当教員	永山 祐輔	EK29	3・4	2

科目の概要

職場におけるメンタルヘルス対策として、労働者自身がストレスに関する知識を身につけ、ストレスへの対処・予防を行う「セルフケア」、管理監督者が職場環境の改善や部下の相談対応を行う「ラインによるケア」などの重要性が説かれている。

本科目では、ストレスおよびそのケアに関する基礎知識や関連法規についての知識を学習する。また、社員からの相談に対応する際に必要なコミュニケーションスキルや、保健スタッフ等との連携による復職支援の方法などを学ぶことで、実際の現場で支援を行う際に必要不可欠な知識を習得する。

科目の到達目標

- ① ストレスの概念やケアの方法、さらにストレスと強く関係する心身の疾病について説明することができる。
- ② 部下等への相談対応を行う際に必要なスキルの習得、部下の心身の不調の兆候に気づけるように日常的に配慮を行うポイントを理解することができる。

テキスト

『メンタルヘルス・マネジメント検定試験公式テキスト [Ⅱ種ラインケアコース]』
大阪商工会議所(編), 中央経済社, 2021年

テキストの読み方

- ① メンタルヘルス・マネジメント検定(Ⅱ種ラインケアコース)の公式テキストを使用する。本テキストは、職場でのメンタルヘルスに関して、メンタルヘルスの重要性、関係法規、ストレスや心身の疾病に関する基礎知識、労働者への支援方法などのポイントを分かりやすくまとめている。基本的には、第1章から順に読み込むことでメンタルヘルスに関する基礎知識が習得できる。
- ② 資料として掲載されている関係法規や指針についても目を通し、知識を深めておくことが望ましい。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

* 本科目を学習する前提として、AB20(心理学概論)を学習していることが望ましい。